

ケイソウ土

英名 : Diatomaceous Earth

CAS No. 61790-53-2

JECFA No. 該当なし

別名 : 該当なし

構造式 : —

1. 基原・製法

ケイソウに由来する二酸化ケイ素で、乾燥品、焼成品及び融剤焼成品があり、それぞれをケイソウ土（乾燥品）、ケイソウ土（焼成品）及びケイソウ土（融剤焼成品）と称する。焼成品は、800～1200°Cで焼成したものであり、融剤焼成品は、少量の炭酸のアルカリ塩を添加して800～1200°Cで焼成したものである。融剤焼成品のうち酸洗い品については、焼成品の規定（性状を除く）を準用する。

2. 主な用途

製造用剤

3. 安全性試験の概要

1) 急性毒性試験

経口投与の情報なし

2) 反復投与毒性試験

Wistar ラット（雌雄各群15匹）にケイソウ土を90日間1%、3%、5%添加で混餌投与したところ、5%群で体重増加量の上昇が見られたが、1%、3%群では、被験物質に起因する毒性影響はみられなかった¹⁾。

3) 変異原性試験

Ames 試験が実施されており、陰性と報告されている²⁾。

Ames 試験：陰性；5,000 µg/plate²⁾

4) その他

毒性が懸念される報告はない。

5) 海外評価書における扱い

FDA では Perlite との混合物として generally recognized as safe (GRAS)と評価した
3)。

4. 結論

本既存添加物は、日本国内で流通しているものについては、安全性に懸念はないと考えられる。

5. 参考資料

- 1) Bertke E. M., The Effect Of Ingestion Of Diatomaceous Earth In White Rats: A Subacute Toxicity Test. Toxicol Appl Pharmacol. 6: 284-91 (1964)
- 2) 林ら : Environ. Mutagen Res.,22, 27-44 (2000)
- 3) FDA: GRAS Notice GRN 087 (2002)